

## 2019年9月期 第1四半期決算短信 [日本基準] (連結)

2019年1月24日

上場会社名 K I ホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6747 URL <http://www.koito-ind.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 常雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 田地川 章 TEL (045) 822-7101  
 四半期報告書提出予定日 2019年2月12日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年9月期第1四半期の連結業績 (2018年10月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第1四半期	10,933	0.6	1,331	14.6	1,462	17.4	737	12.6
2018年9月期第1四半期	10,869	6.4	1,161	121.1	1,245	82.5	654	146.4

(注) 包括利益 2019年9月期第1四半期 572百万円(△61.8%) 2018年9月期第1四半期 1,497百万円(△11.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第1四半期	17.80	—
2018年9月期第1四半期	15.81	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年9月期第1四半期	51,358	18,923	28.7	355.88
2018年9月期	50,699	18,350	28.4	347.06

(参考) 自己資本 2019年9月期第1四半期 14,744百万円 2018年9月期 14,378百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年9月期	—	—	—	—	—
2019年9月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

### 3. 2019年9月期の連結業績予想 (2018年10月1日～2019年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	27,900	4.6	3,700	4.2	3,700	2.9	2,600	9.8	62.75
通 期	47,000	0.5	4,400	△ 10.1	4,300	△ 11.8	2,700	△ 13.5	65.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年9月期1Q	41,587,061株	2018年9月期	41,587,061株
② 期末自己株式数	2019年9月期1Q	156,990株	2018年9月期	156,650株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年9月期1Q	41,430,280株	2018年9月期1Q	41,433,418株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(日付の表示方法の変更)

「2019年9月期第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

(参考)

2019年9月期の個別業績予想(2018年10月1日～2019年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	50	△ 75.2	△ 470	—	1,230	△ 17.7	1,680	△ 7.4	40.55
通 期	50	△ 88.5	△ 960	—	1,830	△ 15.3	2,280	△ 15.5	55.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(追加情報) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用・所得情勢の継続的改善や円安等により企業収益・設備投資が堅調であったことから、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、世界経済においては、米中の貿易摩擦への懸念や中国等新興国の成長鈍化、世界同時株安などのリスクはあるものの、米国企業の業績好調を背景に小幅ながら堅調に推移いたしました。

このような経済環境のもとで、当社グループのセグメント別売上高は以下の状況となりました。

輸送機器関連事業につきましては、中国子会社が売上減となったものの、鉄道車両機器部門が売上増となったことにより、前年同期比8.2%増の6,214百万円となりました。

電気機器関連事業につきましては、交通システム部門が売上増となったものの、照明部門及び情報システム部門が売上減となったことにより、前年同期比7.2%減の4,386百万円となりました。

住設環境関連事業につきましては、環境システム部門が売上増となったものの、住設部門が売上減となったことにより、前年同期比17.3%減の331百万円となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループ全体の売上高は、前年同期比0.6%増の10,933百万円となりました。

損益につきましては、売上高の増加、原価低減及び経費削減の効果などにより、営業利益は前年同期比14.6%増の1,331百万円と前年同期に比べ増加しました。また、営業利益の増加を受け、経常利益は前年同期比17.4%増の1,462百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比12.6%増の737百万円と前年同期に比べそれぞれ増加しました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、流動資産は現金及び預金の増加1,586百万円、製品の増加883百万円、受取手形及び売掛金の減少1,973百万円などにより、前連結会計年度末に比べ1,002百万円増加し、36,081百万円となりました。また、固定資産は投資有価証券の減少436百万円、繰延税金資産の減少253百万円、退職給付に係る資産の増加356百万円などにより、前連結会計年度末に比べ343百万円減少し、15,276百万円となりました。これらの結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ658百万円増加し、51,358百万円となりました。

負債につきましては、支払手形及び買掛金の増加591百万円、賞与引当金の減少313百万円などにより、前連結会計年度末に比べ86百万円増加し、32,435百万円となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益737百万円、非支配株主持分の増加207百万円、その他有価証券評価差額金の減少304百万円などにより、前連結会計年度末に比べ572百万円増加し、18,923百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年10月25日に公表いたしました連結業績予想からの修正は行っておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,818	9,404
受取手形及び売掛金	18,628	16,655
製品	2,892	3,776
仕掛品	1,847	1,952
原材料及び貯蔵品	3,884	3,907
その他	263	503
貸倒引当金	△256	△117
流動資産合計	35,079	36,081
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,232	2,192
機械装置及び運搬具（純額）	114	116
工具、器具及び備品（純額）	164	174
土地	2,971	2,971
建設仮勘定	0	34
有形固定資産合計	5,483	5,489
無形固定資産		
投資その他の資産	132	131
投資有価証券	7,189	6,752
退職給付に係る資産	2,005	2,361
繰延税金資産	435	181
その他	496	479
貸倒引当金	△122	△119
投資その他の資産合計	10,004	9,655
固定資産合計	15,620	15,276
資産合計	50,699	51,358

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,522	10,114
短期借入金	3,700	3,700
1年内返済予定の長期借入金	1,600	1,600
未払法人税等	459	252
賞与引当金	513	200
その他	3,673	3,471
流動負債合計	19,468	19,338
固定負債		
長期借入金	6,400	6,400
繰延税金負債	835	676
役員退職慰労引当金	328	341
環境対策引当金	176	176
退職給付に係る負債	5,078	5,442
その他	59	59
固定負債合計	12,879	13,096
負債合計	32,348	32,435
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,214	9,214
資本剰余金	8,211	8,211
利益剰余金	△6,128	△5,391
自己株式	△57	△57
株主資本合計	11,239	11,976
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,512	2,208
為替換算調整勘定	179	98
退職給付に係る調整累計額	447	461
その他の包括利益累計額合計	3,139	2,767
非支配株主持分	3,971	4,179
純資産合計	18,350	18,923
負債純資産合計	50,699	51,358

## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2017年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2018年12月31日)
売上高	10,869	10,933
売上原価	8,485	8,264
売上総利益	2,384	2,668
販売費及び一般管理費	1,223	1,337
営業利益	1,161	1,331
営業外収益		
受取利息	8	18
受取配当金	26	29
為替差益	16	—
貸倒引当金戻入額	56	134
その他	36	20
営業外収益合計	145	202
営業外費用		
支払利息	54	47
為替差損	—	20
その他	7	4
営業外費用合計	61	71
経常利益	1,245	1,462
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	1,245	1,462
法人税等	226	444
四半期純利益	1,018	1,018
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	654	737
非支配株主に帰属する四半期純利益	363	280
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	323	△304
為替換算調整勘定	151	△154
退職給付に係る調整額	4	13
その他の包括利益合計	478	△445
四半期包括利益	1,497	572
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,058	365
非支配株主に係る四半期包括利益	438	207



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部訂正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年10月1日 至 2017年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注) 2
	輸送機器 関連事業	電気機器 関連事業	住設環境 関連事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,740	4,727	401	10,869	—	10,869
セグメント間の内部売上高 又は振替高	808	307	—	1,116	△1,116	—
計	6,549	5,034	401	11,986	△1,116	10,869
セグメント利益(△は損失)	936	412	△2	1,346	△185	1,161

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△185百万円は、各報告セグメントに配分していない提出会社の管理部門等に係る費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注) 2
	輸送機器 関連事業	電気機器 関連事業	住設環境 関連事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,214	4,386	331	10,933	—	10,933
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,214	4,386	331	10,933	—	10,933
セグメント利益(△は損失)	1,107	422	△0	1,529	△197	1,331

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△197百万円は、各報告セグメントに配分していない提出会社の管理部門等に係る費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。